

回答率：評議員100%、保護者86.7%、児童100%、教職員100%

学校教育目標

1	教育方針・目標の理解	2	意欲的な学校生活	3	教師の連携協力
学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。		子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。		全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。	
考察 【1について】 教室等の掲示やP T A総会時、学校ホームページ、学校通信などを通して、広く周知し、共有化を図る必要である。 【2について】 6 %の児童が否定的であったことから、自己肯定感等を高めたり、将来の夢を持たせたりする指導の工夫が必要である。 【3について】 教職員への信頼が、児童の発展に繋がることから、教職員一人一人が組織の一員としての自覚をより高めて職務を遂行する必要がある。					

教科指導について

4	授業づくりの工夫	5	意欲的な学習態度																														
あなたは、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		子どもたちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。																															
<table border="1"><thead><tr><th>対象</th><th>肯定的 (Blue)</th><th>肯定的かつ肯定的 (Green)</th></tr></thead><tbody><tr><td>教職員</td><td>40%</td><td>60%</td></tr><tr><td>児童</td><td>65%</td><td>35%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>45%</td><td>55%</td></tr><tr><td>評議員</td><td>95%</td><td>5%</td></tr></tbody></table>		対象	肯定的 (Blue)	肯定的かつ肯定的 (Green)	教職員	40%	60%	児童	65%	35%	保護者	45%	55%	評議員	95%	5%	<table border="1"><thead><tr><th>対象</th><th>肯定的 (Blue)</th><th>肯定的かつ肯定的 (Green)</th></tr></thead><tbody><tr><td>教職員</td><td>55%</td><td>45%</td></tr><tr><td>児童</td><td>65%</td><td>35%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>45%</td><td>55%</td></tr><tr><td>評議員</td><td>95%</td><td>5%</td></tr></tbody></table>		対象	肯定的 (Blue)	肯定的かつ肯定的 (Green)	教職員	55%	45%	児童	65%	35%	保護者	45%	55%	評議員	95%	5%
対象	肯定的 (Blue)	肯定的かつ肯定的 (Green)																															
教職員	40%	60%																															
児童	65%	35%																															
保護者	45%	55%																															
評議員	95%	5%																															
対象	肯定的 (Blue)	肯定的かつ肯定的 (Green)																															
教職員	55%	45%																															
児童	65%	35%																															
保護者	45%	55%																															
評議員	95%	5%																															
考察 【4について】 全児童が肯定的であったことは、教職員の励みとなった。学力向上は学校の責任であるとの自覚のもと、今後も授業改善に向けた教材研究を充実させ、児童に「わかる、できる」喜び味わわせたい。 【5について】 保護者が授業を観る機会が少なく（2学期は授業参観なし）、評価しにくい点があるように思われる。今後、学校行事の内容を見直すとともに、保護者限定によるネット配信などの方法での授業参観も模索する必要がある。																																	

道徳教育 心の教育について

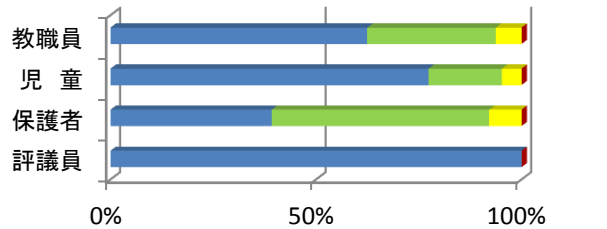
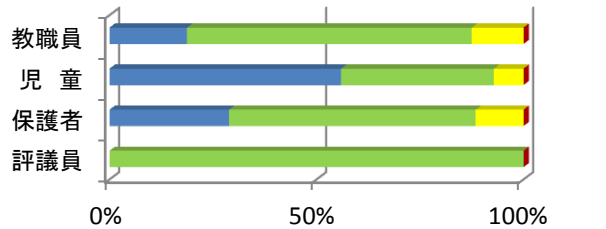
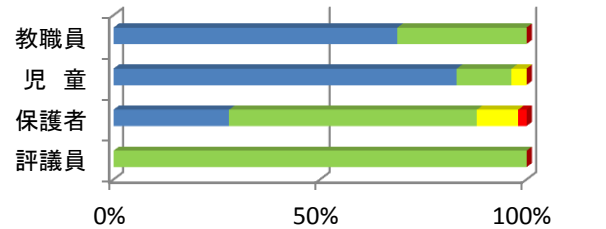
6	道徳、心の教育の充実	7	あいさつ、礼儀の励行
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にする心の教育の充実に努めていると思いますか。		子どもたちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。	
考察 【6について】 「そう思う」と回答した児童が、38%にとどまったことから、心の教育の充実は急務と考えられる。学校での道徳教育の充実や家庭での日常的な指導、地域での体験的活動の充実等、三者がそれぞれに責任をもって取り組む必要がある。 【7について】 「そう思う」の回答に大きな違い（保護者29%、児童74%、教職員13%）があったことから、意識にずれが認められた。場に応じた礼儀の励行について、具体的にかつ継続的に指導する必要がある。また、普段の大人の行動や言動が大きく影響することから、すべての大人が模範を示す必要がある。			

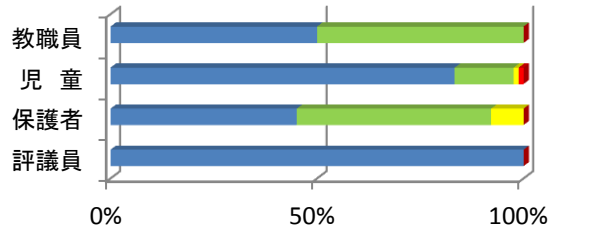
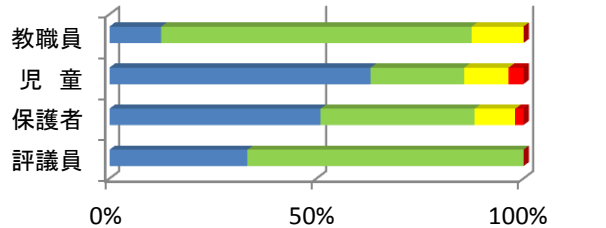
人権教育について

8	一人一人の児童の尊重	9	友だちへの思いやり
学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。		子どもたちは、友だちとなかよくしていると思いますか。	
考察 【8について】99%の児童が肯定的であったことは、日々の取組の成果であると考えます。しかし、1%の児童が否定的であったことに着目し、更なる児童理解と日常観察の深化を図り、丁寧な指導や対応にあたる必要がある。また、12%の保護者が否定的であったことから、相談体制を整備し、家庭と学校の連携を強化する必要があります。 【9について】9%の児童と保護者が否定的であったことから、学校での人権教育の深化や日常での機会を逃さない指導の徹底等を図る必要があります。また、家庭（日常的な会話等）、地域（社会教育や地域行事等での体験活動等）における取組も不可欠であるので、三者の協働を図る必要があります。			

学校行事について

10	学校行事への参加と工夫
学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。	
考察 【10について】14%の保護者が否定的であった理由をアンケート等により探り、多くの人のニーズに対応した学校行事を模索する必要がある。	

生徒指導 教育相談について					
11	児童理解	12	規範意識	13	いじめや問題への対応
あなたは、子どもの良さを見つけ、子どものことを理解しようとしていると思いますか。		子どもたちは、規則やマナーを守っていると思いますか。		学校は、いじめや問題があったとき、すぐに対応していると思いますか。	
					
考察 【11について】 9 5 % の児童が肯定的であったことは、日々の取組の成果であると考えます。しかし、 5 % の児童が否定的であったことに着目し、「認め・褒め・励まし」の指導をさらに推進する必要がある。また、保護者に対しては、通信等で今以上に発信する必要がある。 【12について】 規範意識の高揚は、学力向上やいじめの未然防止、安全な生活等に繋がることから、学校総体となって高める必要がある。また、家庭や地域との協働も必要である。 【13について】 いじめ等の問題について、まずは未然防止、そして、早期発見・早期対応を心がけているところだが、 4 % の児童と 1 2 % の保護者の否定的な意見に対し、早期に、相談体制を整備し、家庭と学校の連携を強化する必要がある。					

健康教育 安全について			
14	安全と事故防止	15	体力向上
学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。		子どもたちは、すすんでスポーツなどをしていると思いますか。	
			

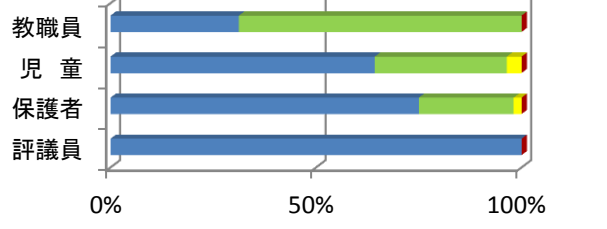
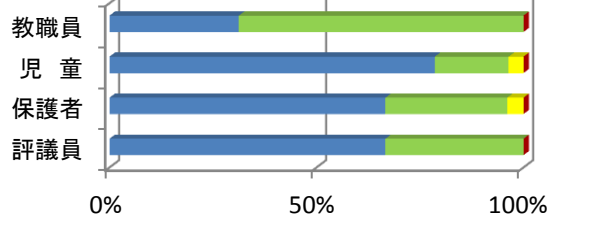
考察

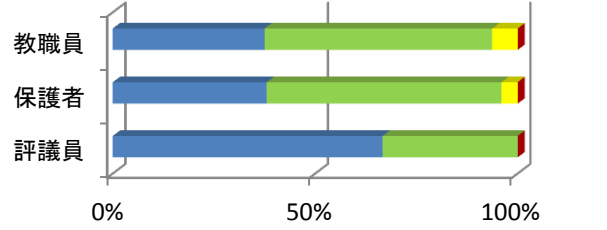
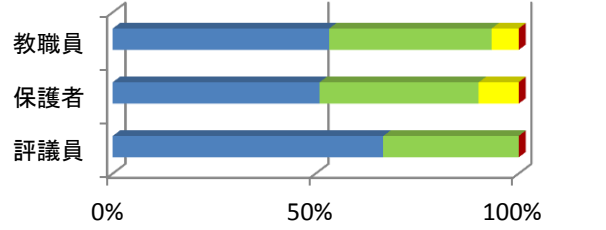
【14について】

学校は、児童一人一人の命を守り、安全なところでなければいけないという認識のもと、全職員で安全教育取り組んできたが、完全浸透には至っていないのが現状である。今後も反復指導が必要である。また、登下校等においては、保護者や地域の方との協力が不可欠なので、三者の協働で安全を確保する必要がある。

【15について】

体力の向上について、部活動や教科体育のみにとどまらず、外遊びの奨励や社会体育への円滑な移行へも尽力する必要がある。また、幼少期からの外遊びの奨励を周知する必要もある。

学校環境について				
16	環境の整理・美化	17	施設・設備の安全管理	考察 【16について】 花壇や校内掲示の活用について、教師一人一人が工夫する必要がある。 【17について】 毎月実施している校内安全点検の徹底は勿論のこと、教職員一人一人が日常的に危険箇所を探すなどの意識の高揚を図る必要がある。また、児童や保護者から、危険を感じたことは即連絡受ける体制を整備する必要がある。
学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。		学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。		
				

情報の公開・発信について		家庭・地域の連携について	
18	学校の予定等がわかる情報発信	19	教育活動への参加
学校の情報は、文書（学校便り等）やホームページ等で、十分に発信されていると思いますか。		学校が公開している教育活動（行事、授業参観等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。	
			
考察 【18について】 9 6 % の保護者が肯定的であったことから、今後も学校・学級便り等の発行を継続させる。また今年度リニューアルした学校ホームページの更なる充実と周知を図りたい。		考察 【20について】 学校と家庭の連携は、児童の発展には不可欠であることから、今後も地域と共に創る学校づくりに努める必要がある。	
【19について】 アンケート調査等を実施し、多くのニーズに対応した行事等を計画する必要がある。			

来年度の具体的な取り組みについて(今年度否定的な回答が多かった事項を中心に)				
○学校教育目標の周知。（学校便り及び学校ホームページに継続掲載、校内掲示、児童集会、PTA総会等での継続的な啓発） ○学力の向上。（基礎基本の事項の徹底、思考力・判断力・表現力の育成） ○ICTの活用。（授業改善や情報発信のツールとしての活用強化） ○「あいさつ日本一」の取組。（学校・家庭・地域の協働等） ○いじめや問題行動の未然防止。（相談体制の整備と周知、複数回のアンケート調査、教育相談の充実、外部機関との連携、家庭との連携等） ○道徳教育、人権教育の充実。（道徳の教科化への対応、授業参観での保護者啓発、家庭との連携等） ○行事の精選や改善。（多く人のニーズに対応する工夫） ○規範意識の高揚。（人権教育、積極的な生徒指導、家庭との連携等） ○地域と共にある学校づくり（岩野版コミュニティ・スクールの充実）				